



## Backward Design (バックワード・デザイン) とは

組織目標「知る。考える。動くーBackward Designによる教育活動の展開ー」について

ゴールを考え、ゴールから逆算して活動を創っていく。これが、Backward Design「逆向き設計」です。メジャーリーグで活躍している大谷翔平選手が高校時代に作成したといわれているマンダラチャートや17のゴールを掲げたSDGs「持続可能な開発目標」もBackward Designの考え方に基づいています。まず、大きな目標を掲げ、目標達成のために必要な具体的な手立てを挙げていきます。

大切なのは、課題や問題を知り、目標を掲げ、いつまでに、何を、どのようにするか等について考え、実行することです。授業においても、生活においても、習い事においても、同様です。そして、それは子供たちにおいても、教職員においても同様です。

予測困難といわれる時代に生きる子供たちが、学び方を学ぶ、様々なことに挑戦する、他者との協働により課題や問題を解決していく。そのような姿を目指し、取り組んでいきたいと考えています。



## 小川南中学校との小中一貫教育をすすめます



小美玉市では、小中一貫教育を推進しています。

小川南中学校区は、校舎は離れていますが、小川南小学校と小川南中学校の一小一中が、教育目標などを共有し、児童生徒の9年間を見通した教育活動をすすめていきます。

小川南中学校区小中一貫教育目標

み な み  
自ら学び 仲間とともに 未来を切り拓く

- 学校運営協議会を小中合同で実施します。
- 教職員研修会（相互授業参観含む）を小中合同で実施します。
- オンラインで小中学生がつながります。
- あいさつ運動を小中合同で実施します。
- 小学生が中学生の授業等を見学します。



昨年度の合同あいさつ運動の様子



## まなびプロジェクト



グランドデザイン（学校ホームページ掲載）でお示ししたとおり、今年度は「まなびプロジェクト」「こころプロジェクト」「からだプロジェクト」「学校・教職員プロジェクト」の4つのプロジェクトにより、学校教育目標・組織目標の具現化を目指します。

本号では、「まなびプロジェクト」について、ご紹介します。



**5年国語「図書館へ行こう」**  
探したい本の見つけ方について学びました。  
「図書館の本は、同じような内容ごとに置かれてるんだね。」  
「本の分類がわかると、本がすぐに見つかるんだね。」

**2年国語「風のゆうびん屋さん」**  
風のゆうびん屋さんは、この後どこへいったのかを考えました。自分で考えた後は、友達と考えを共有し、考えを広げたり深めたりしました。  
「その考え、いいね。すごい！」



協働による学びのよさが生かされています。



**4年社会「茨城県」**  
交通の様子や周りの県について調べました。  
「こんなにたくさん道路があると思わなかった！」  
「茨城空港から遠くへ行けるよ。」



図書館の本に分類について知り、分類のよさを感じていました。



道路や鉄道、空港等による、他県とのつながりを知ることができました。